

【事例】 SNSを見ていたところ、国内ブランドの下着の広告が表示された。公式通販サイトの広告と思い、リンク先になっていた通販サイトにアクセスして、ブラジャー2枚を5千円で代引き配達で注文した。後日、宅配業者に代金を支払って荷物を受け取り、開封して商品を確認したら偽物だった。通販サイトの画面は残しておらず、販売業者の情報はメールアドレスしかわからない。宅配業者には「荷物を開封した後は受け取り拒否にはできない。返金はできない」と言われた。送り状の依頼主の欄には、発送代行業者と思われる事業者の連絡先が記載されており、販売業者の情報は不明である。(60歳代)



インターネット通販トラブル
代引き配達で偽物が!

ひょうとアドバイス

●「偽物」が届く通販サイトには、「大幅に値引きされている」「日本語の字体、文章表現がおかしい」「代引き配達しか選択できない」「送り状の依頼人が販売業者の名称とは異なっている」などの特徴がよく見られます。少しでも怪しいと感じたら取引は控えましょう。

●代引き配達で宅配業者などに代金を支払って商品を受け取ってしまうと、後で商品が「偽物」だとわかってても宅配業者からの返金は困難です。代金を支払う前に、送り状に記載されている「依頼人」の情報を確認し、注文した販売業者とは違う場合は、代金を支払わず、受け取りを拒否しましょう。

参考…(独)国民生活センター「見守り新鮮情報第463号」

困った時は、消費生活センターに相談してください。



▲イラスト：黒崎 玄

ウガンダのクリスマス

問合せ 自治振興課

多様な文化と宗教習慣を持つ国として、ウガンダの人々は多くの宗教を信仰しており、ウガンダで最も一般的に信仰されている宗教はキリスト教(カトリック、プロテスタント、ペンテコステ派)です。

クリスマスは、イエス・キリストの誕生を記念して毎年12月25日に祝われるキリスト教の祝日です。ウガンダでは、クリス

マスはおそらくキリスト教の暦の中で最大かつ最も人気のあるお祝いです。この日は祝日で、銀行を含むほとんどのオフィスや店舗が閉まります。

ウガンダでは、11月中旬にはすでにお祭り気分が非常に高まります。この時期、町は忙しくなり、新しい服を買う人や、風船、クリスマスイルミネーション、クリスマスツリーなどの装飾品を探している人でいっぱいになります。街では、いくつかの店から、大音量でクリスマスソングが聞こえ始めます。

クリスマスの前には家々が美しく飾り付けられます。離れて暮らす家族が集まって、クリスマスを祝います。ウガンダの家庭では、クリスマスの朝は



▲ウガンダでの装飾されたクリスマスツリー



▲教会でクリスマスイブを祝う子どもたち

この特別な日のための準備で、通常より早く起きて忙しくしています。小さな子どもたちは家の中や周りの掃除などの簡単な仕事を引き受けますが、年上の子どもたちは朝食や特別な食事の準備など、難しい仕事を担当します。

クリスマスの日には普段よりも多くて美味しい朝食をとったあと、ほとんどが新しい服を着て、祈りのために教会に向かいます。教会から戻ると、家族で豪華な宴会の時間です。食べ物も飲み物もたくさんあります。人々は楽しい音楽を聴いたり、一緒に踊ったりします。クリスマスの日には写真スタジオや自宅で記念写真を撮る家庭も多いです。

みなさんにとって、素敵なクリスマスになりますように!

今月のアチョリ語
Karama (カラマ)：クリスマス
Ot lega (オット・レガ)：教会
Wer (ウェー)：歌



▶国際交流員
エマニエル・オチヨラ

